

越前水仙群生地区における主要な景観形成方策



・多くの人が集まる拠点施設となる水仙ドームや水仙ミュージアムなどは、水仙畑や背後の山並みの景観と調和するよう、高さや形態意匠、色彩を適正に誘導します。
 ・越前水仙と越前海岸、山並みが融和した美しい自然景観を眺望する場所として、視点場の整備・演出を行います。



・切り立った斜面に密集する特徴的な集落景観の保全、背後の山並みとの調和を図ります。



・重点地区への玄関口として、景観的演出を図ります。



・切り立った地形に寄り添うように密集する特徴的な集落景観を保全します。
 ・昔ながらの板壁の家並みの保全、高さや色彩の規制を行うとともに、上からの目線にも配慮し、屋根の形状や色についても誘導を図ります。



・漁港についても、防波堤などの修景を図ります。



・観光ルートでもある国道305号は、電線類の地中化、街路灯やサインなどの統一及びデザインの工夫、防波堤や離岸堤の修景、沿道の建築物等や屋外広告物の適正な誘導を行い、車窓からのビスタを良好に演出します。



・地域のランドマークとなる樹木を保全します。



・地域の特性に調和する落ち着いた雰囲気の建築物等を誘導します。







・厳寒の荒波に耐える人々の生業が密接に結びついた水仙畑の文化的な景観を保全するとともに、視点場や散策路の整備・演出を行います。



・越前水仙と奇岩奇勝の海岸線及び日本海の水平線が広がるパノラマを楽しむことができる視点場の整備・演出を行います。



・越前海岸特有の奇岩奇勝、四季折々に表情を変える日本海へのパノラマを楽しむ視点場や遊歩道の整備・演出を行います。

-  重点地区の範囲
-  骨格となる道路景観軸
-  主要な歩行者景観軸（散策路）
-  主要な視点場・結節点